

美術科

教科の重点目標 制作することの喜びを感じながら主体的に学習に取り組む態度を育み、創造的技能・発想の能力の向上を目指す。

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第一学年	<p>◎考える力を伸ばす観点 第一学年においては小学校時の「図画・工作」から「美術」と言う教科に変わり、より高度な発想力と技術が求められるようになる。各単元のもつ意義と可能性を考え、個々の発想力を発揮しながら、個性豊かな作品制作を目指すと共に、他者の作品や作家の作品を鑑賞することにより、考え方の違いや表現方法の多様性にも気付き、発想力を広げていくように指導していく。</p> <p>◎習熟の程度に合わせる観点 一年生においては技術よりも自分らしさを元気に表現することを目標に課題設定をしている。</p> <p>◎生徒による授業評価からの観点 生徒は授業目標を明確に把握し、取り組んでいるという結果から、大きな改善は不要であると思われる。</p>	<p>各単元の目標と特性を知り、より効果的な表現方法を考え、実践していく。美術に関する材料や道具等について、その特性を生かした表現方法を発見し、制作につなげていくなど専門的な知識を身につけていくことも学習の一つであると考え。年度当初にはまず、「色彩の学習」を課題とし、絵具の特性や三要素について学び、基礎的な知識を身につけることを行う。また、各自が個性を発揮し、豊かな発想の力を伸ばすことができるよう、教材選択も十分考慮し、課題設定をしていきたい。絵画の分野から「クロッキー」を行い、豊かな発想力や描きたいものをすぐに表現できる力を伸ばしていく。生徒誰が制作しても同じ物が出来るようなものは出来るだけ避け、自分独自の表現力を発揮できるような教材選択をする。二学期にはデザインの分野から「モダンテクニック」を行い、モダンテクニックの表現の面白さに気付き、表現する力の向上を目指す。また、「名画の鑑賞」を通し、画家の多様な表現方法に触れ、多様な技能や色の使い方を学習し、今後の制作に生かすよう指導していく。三学期には工芸的な分野から「木彫」に取り組み、技術の向上と作品を仕上げることの大切さについて学んでいきたい。</p>	<p>見る力、描写する力、考える力を伸ばすため、各学年共にクロッキーの課題を設定し、表現力及び発想力の向上につなげていきたい。授業の始めの導入として取り組み、繰り返し行うことで描く力を向上させたい。</p> <p>題材は自分の暮らしのまわりのものとし、自分の手やバケツ、上履きなど身近なものを描き、身近なものを描く楽しさや、発想・表現力の向上につなげていきたい。</p> <p>夏休みの課題にもクロッキー・デッサンを取り入れ、描くことが美術・表現の基礎・基本であることを認識させ、スパイラル学習を展開する。</p> <p>モダンテクニックの様々な表現方法を学び、それを作品として仕上げつつ、今後の作品作りに技法を取り入れ表現の幅を広げていく。</p> <p>名画作品、特に印象派の作品や友人の描いたものを鑑賞していく中で、美しさや多様な表現方法などを感じ取り、今後の作品制作に生かすとともに、絵画の鑑賞の仕方、楽しみ方を学ばせる。</p>	